

【表紙】

【提出書類】	有価証券報告書の訂正報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の2第1項
【提出先】	北陸財務局長
【提出日】	平成24年10月25日
【事業年度】	第87期（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）
【会社名】	三谷産業株式会社
【英訳名】	MITANI SANGYO CO.,LTD.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 饗庭 達也
【本店の所在の場所】	石川県金沢市玉川町1番5号
【電話番号】	(076)233-2151(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役財務担当 清水 敏男
【最寄りの連絡場所】	石川県金沢市玉川町1番5号
【電話番号】	(076)233-2151(代表)
【事務連絡者氏名】	常務取締役財務担当 清水 敏男
【縦覧に供する場所】	三谷産業株式会社 東京本社 (東京都中央区築地六丁目19番20号(ニチレイ東銀座ビル)) 株式会社名古屋証券取引所 (名古屋市中区栄三丁目8番20号)

(注) 上記のうち、東京本社は法定の縦覧場所ではありませんが、投資家の便宜を考慮して縦覧に供する場所としております。

1【有価証券報告書の訂正報告書の提出理由】

平成24年6月22日に提出いたしました第87期（自平成23年4月1日至平成24年3月31日）の有価証券報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため有価証券報告書の訂正報告書を提出するものであります。なお、連結財務諸表の記載内容にかかる訂正箇所についてはXBRLの修正も行いましたので、併せて修正後のXBRL形式のデータ一式（表示情報ファイルを含む）を提出いたします。

2【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

1 業績等の概要

(1) 業績

2 受注及び販売の状況

(1) 受注実績

第5 経理の状況

1 連結財務諸表等

(1) 連結財務諸表

連結貸借対照表

2 財務諸表等

(2) 主な資産及び負債の内容

固定資産

関係会社株式

3【訂正箇所】

訂正箇所は_____を付して表示しております。

第一部【企業情報】

第2【事業の状況】

1【業績等の概要】

(1)業績

(訂正前)

(前略)

(セグメントの状況)

(中略)

<住宅設備機器関連事業>

首都圏においては、マンション向けを主軸とした三谷住建販売(株)では、ユニットバス・洗面化粧台・システムキッチンを主力商品として受注活動を展開するとともに、リノベーション市場に注力するため事業企画部門を新設し、マーケットリサーチを開始しました。(株)インテンザでは、デザイン性と機能性を併せ持ったオリジナル商品の提案営業をディベロッパ中心に展開しました。北陸地区においては、三谷産業コンストラクションズ(株)では、地域のネットワークを活用し住宅設備機器・空調機器の受注活動を展開しました。

受注高は、首都圏および北陸地区ともに大型案件を受注できたことから前期比20.3%増の139億84百万円となりました。しかし、受注利益率については、苦戦を強いられました。

売上高は、首都圏での大型工事事案件の売上計上が寄与し前期比4.4%増の120億17百万円となりました。一方、損益面は、(株)インテンザにおいて震災の影響により物件の完成が第4四半期に集中した結果、製品の設計・製造・施工過程全てにおいて多くのトラブル・手戻り・クレームが発生し、さらに外注人件費の高騰も重なりました。その結果、当初想定を大幅に上回る原価計上を余儀なくされ、6億28百万円の営業損失となりました(前期の営業損失は13百万円)。震災以降のかかる状況を予想し得なかった管理体制について、多くの反省点を見出すこととなりました。

(後略)

(訂正後)

(前略)

(セグメントの状況)

(中略)

<住宅設備機器関連事業>

首都圏においては、マンション向けを主軸とした三谷住建販売(株)では、ユニットバス・洗面化粧台・システムキッチンを主力商品として受注活動を展開するとともに、リノベーション市場に注力するため事業企画部門を新設し、マーケットリサーチを開始しました。(株)インテンザでは、デザイン性と機能性を併せ持ったオリジナル商品の提案営業をディベロッパ中心に展開しました。北陸地区においては、三谷産業コンストラクションズ(株)では、地域のネットワークを活用し住宅設備機器・空調機器の受注活動を展開しました。

受注高は、首都圏および北陸地区ともに大型案件を受注できたことから前期比3.2%増の119億95百万円となりました。しかし、受注利益率については、苦戦を強いられました。

売上高は、首都圏での大型工事事案件の売上計上が寄与し前期比4.4%増の120億17百万円となりました。一方、損益面は、(株)インテンザにおいて震災の影響により物件の完成が第4四半期に集中した結果、製品の設計・製造・施工過程全てにおいて多くのトラブル・手戻り・クレームが発生し、さらに外注人件費の高騰も重なりました。その結果、当初想定を大幅に上回る原価計上を余儀なくされ、6億28百万円の営業損失となりました(前期の営業損失は13百万円)。震災以降のかかる状況を予想し得なかった管理体制について、多くの反省点を見出すこととなりました。

(後略)

2【受注及び販売の状況】

(1) 受注実績

(訂正前)

当連結会計年度の情報システム関連事業、空調設備工事関連事業および住宅設備機器関連事業の受注実績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同期比(%)	受注残高	前年同期比(%)
情報システム関連事業	6,817	108.4	3,473	115.3
空調設備工事関連事業	8,381	82.4	7,081	101.0
住宅設備機器関連	<u>13,984</u>	<u>120.3</u>	<u>8,574</u>	<u>129.8</u>

(注) 1. 受注実績の金額は、セグメント間の内部受注高および受注残高を含めて記載しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

(訂正後)

当連結会計年度の情報システム関連事業、空調設備工事関連事業および住宅設備機器関連事業の受注実績は、次のとおりであります。

(単位：百万円)

セグメントの名称	受注高	前年同期比(%)	受注残高	前年同期比(%)
情報システム関連事業	6,817	108.4	3,473	115.3
空調設備工事関連事業	8,381	82.4	7,081	101.0
住宅設備機器関連	<u>11,995</u>	<u>103.2</u>	<u>6,585</u>	<u>99.7</u>

(注) 1. 受注実績の金額は、セグメント間の内部受注高および受注残高を含めて記載しております。

2. 上記金額には、消費税等は含まれておりません。

第5【経理の状況】

1【連結財務諸表等】

(1)【連結財務諸表】

【連結貸借対照表】

(訂正前)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,341	2,904
受取手形及び売掛金	15,542	17,500
完成工事未収入金	2,773	2,678
商品及び製品	991	1,203
仕掛品	1,086	1,132
未成工事支出金	20	34
原材料及び貯蔵品	206	282
繰延税金資産	116	125
その他	578	688
貸倒引当金	78	10
流動資産合計	24,678	26,540

(省略)

(訂正後)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当連結会計年度 (平成24年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,341	2,904
受取手形及び売掛金	15,542	17,500
完成工事未収入金	2,773	2,678
商品及び製品	936	1,123
仕掛品	1,141	1,159
未成工事支出金	20	34
原材料及び貯蔵品	206	335
繰延税金資産	116	125
その他	578	688
貸倒引当金	78	10
流動資産合計	24,678	26,540

(省略)

2【財務諸表等】

(2)【主な資産及び負債の内容】

固定資産

関係会社株式

(訂正前)

銘柄	株式数(株)	貸借対照表計上額(百万円)
(株)インフィル	12,200	2,892
三谷産業イー・シー(株)	7,200	650
ニッコー(株)	2,936,190	560
三谷産業コンストラクションズ(株)	6,800	340
クラヤ化成(株)	400	190
その他	2,552,510	879
計	5,515,300	5,511

(訂正後)

銘柄	株式数(株)	貸借対照表計上額(百万円)
(株)インフィル	8,200	2,892
三谷産業イー・シー(株)	7,200	650
ニッコー(株)	2,936,190	560
三谷産業コンストラクションズ(株)	6,800	340
クラヤ化成(株)	400	190
その他	2,552,510	879
計	5,511,300	5,511